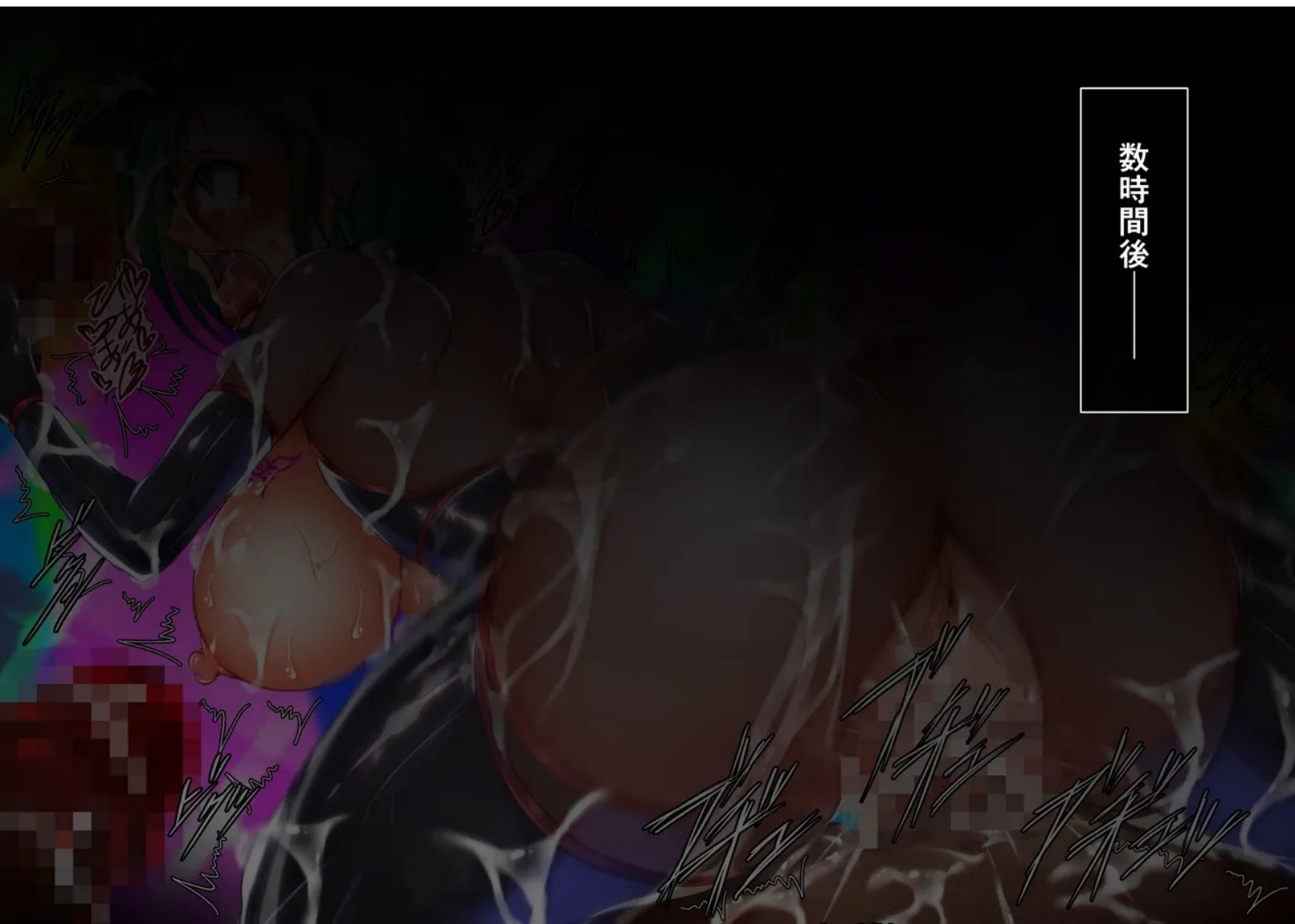
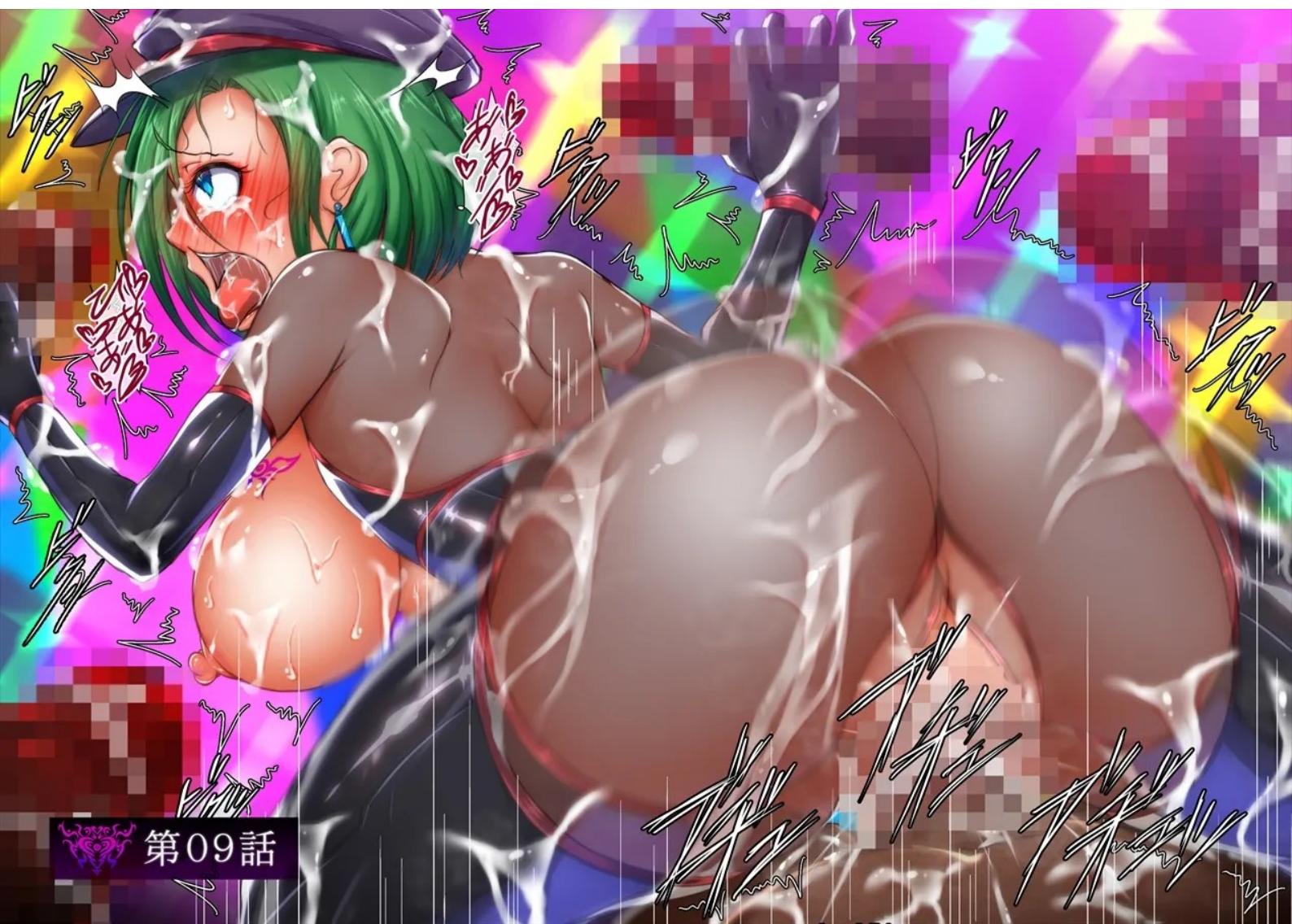


数時間後――





第09話



アヤメの
淫紋完全定着後に
始まったのは、
監獄中の妖魔を
巻き込んだの
輪姦パーティー。

カガチたちに
墮落させられた
監獄の女退魔師たちが
会場で凌辱され、
凄惨に輪姦されている。

その中でも一番の
盛り上がりを見せているのは
この監獄の長だった
女退魔師が嬲られている場所。

つい先ほどカガチの
『所有物』になったばかりの
女看守長の輪姦ショーだった。



ギャヒヒ……！
イイ気味だぜアヤメ

オマエを
困ってる妖魔どもは
ここが監獄だった頃に
オマエから特に
『可愛がられ』てた
カワイソーなヤツらだ

その詫びとして
しっかりコイツらに
『可愛がって』もらえよ？

ツツツツツ
バカな……ツツ
ことをお……ツツ！！



オラア！
なに反抗的な
目つきしてんだ？

ボスの命令には
『絶対従順』って
言ったよな？

ひっ……！！
す、すいま、
せ……ッッ！！

本来ならば
目をつぶってでも
倒せるはずの雑魚妖魔に
怒鳴りつけられた途端、

反抗の意思を
見せようとしていた
アヤメの瞳が一瞬で
怯え萎えしぼんでいく。



ひああ…ツツ♥♥
ダメ、だあ…ツツ!!

理性は……ッ
戻ったのに……ッ
逆らえない……ッ!!

こんな、雑魚どもに……ッ
好き勝手、いわれて……
くやしい、のに……ッ!!

身体が、心が……ッ
かっさに……ッ
悦んでえ……ツ♥♥♥



ギャヒヒ……！
ムダムダ、もうオマエは
二度と妖魔に
齒向かえねえよ

淫紋が完全定着したことで
『マソメス化の呪い』も
さらなる進化を遂げたのさ

オマエの肉体や精神を
縛るだけじゃなく、

オマエの
『人格そのもの』が
『弱体化』していく
破滅の呪いになあ？

これからは
妖魔に翻られるほどに
乱暴に扱われるほどに

気丈だった
精神力が衰えて
ひ弱なマゾ女に
人格が弱体化
されていくんだ

調教に耐えようとする
意思そのものが貧弱に
改変されていく
わけだからな

すっかり快楽に耐えないと
あつという間に
『最弱の人格』に
書き換えられちゃうぞ？
ギャヒヒヒ！



しかし、だからこそ妖魔たちは
その取り戻した理性を
シールでも引き剥がすかように
無邪気に弄んでいく。

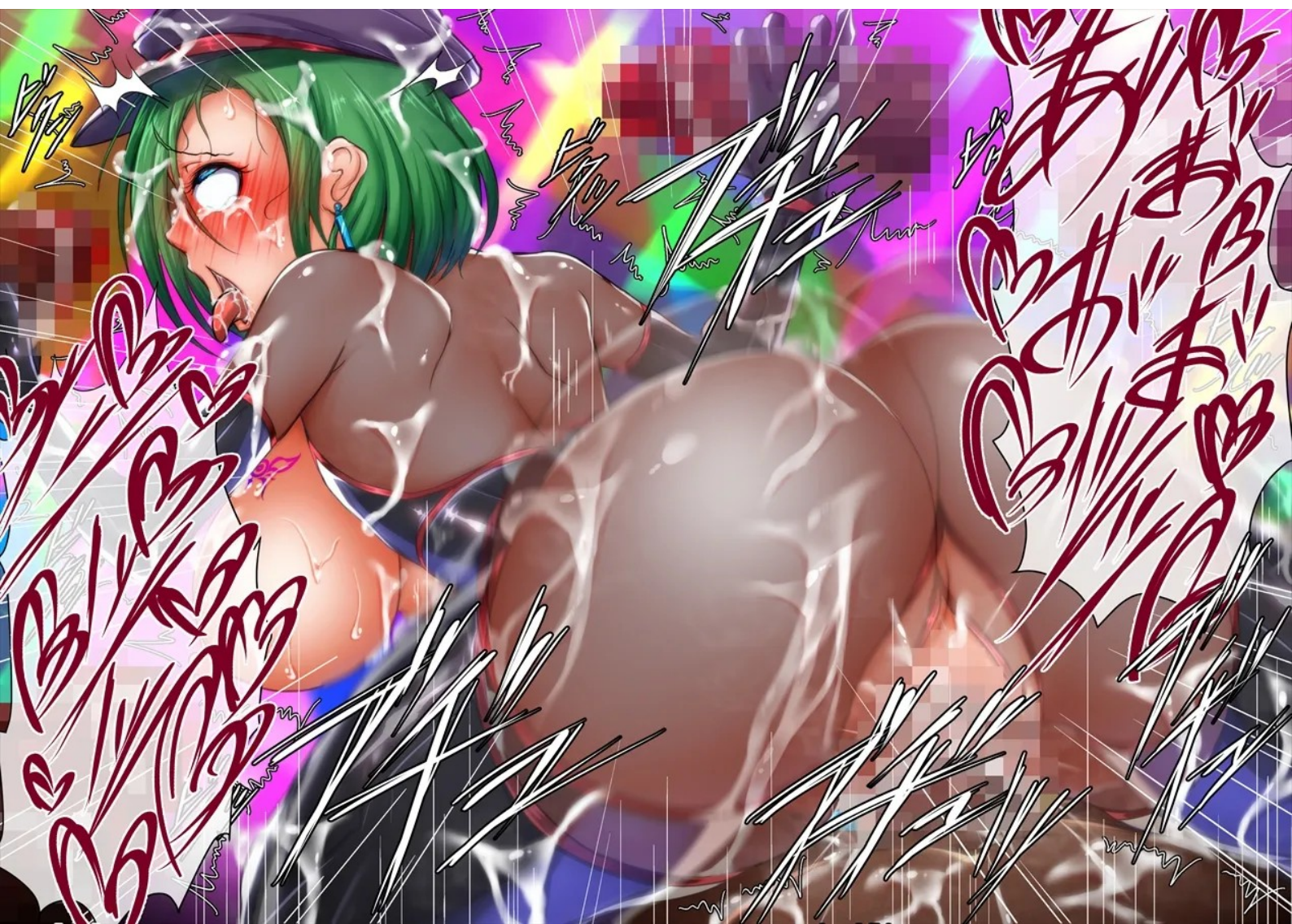
それどころか、強化された呪いによってさらに抵抗力が弱体化されていく――。

あんだだけ高飛車だった
女看守長サマも
人格までマゾメス化されちゃ
手も足も出ねえみたいだなあ？

どんどんイカせまくって
肉便器に相応しい
最弱人格に
作り変えてやるよ！

オラ！
もつと腰を振れ！
連続アクメで
イキまくれ！

ひいッ！
ひやめあッ！
あッ！
ッ！





ほらほら！
もっとイキまくって
マ○コ締め付けやがれ！

サボったら
死ぬより辛い
おしおきしちまうぞ!?

ひああッ♡
すいませんッ♡
すいませんッ♡

雑魚メスマ○コおッ♡
もっと締め付け
ますからあッ♡♡♡



理不尽に
命令されるのがあ♡♡
それに従っちゃうのがあ♡♡
気持ち良すぎてえッッ♡♡♡♡

屈服アクメえッッ♡♡
すぐキメちゃうッッ♡♡♡♡

おおッ♡♡
とまらないッ♡♡
とめられないひ♡♡
いい♡♡♡♡

連続敗北アクメ
とまらないああッ♡♡♡



ギャヒヒヒ!
抵抗もできず
イキまくりやがって

まあしょうがねえよなあ?
感度抜群の肉改造ボディに
一生発情中の脳みそ……

オマエの肉体はすでに
妖魔の共同肉便器として
完成しちまつてるんだからよ

連続絶頂に悶え踊る
汗だくまみれの肉体を
愉快そうに眺めながら
カガチはニンマリと嗤う。



触れただけで
即アクメする
ドスケベボディ

妖魔に犯されることでしか
イケない肉奴隷の暗示

さらに今度は
犯される度に人格さえも
弱体化していく……

自慢の優秀な頭脳が
ビッチ以下のド変態思考に
染まっていくのに
絶望しながら

どこまでも惨めな
性処理便器に
堕ちていくといいさ
ギャヒヒ……!!





おおきいの
くるうツツ
♡♡♡

おおツツ
くるツツ
♡♡♡♡♡

ア
ク
メ
し
ち
や
う
あ
あ
あ
ツ
ツ
♡♡♡

また敗けるうツ
敗北アクメ
するうツツ
♡♡♡



周りを囲む何十匹もの
雑魚妖魔から放たれる
情け容赦ない白濁液の奔流。

即アクメする
全身性感帯に改造され、
さらに呪いによって人格さえも
弱体化されつつあるアヤメに
その快楽に耐える手段はない。

快感に対する
防御力がゼロの肉体に
妖魔たちの
荒々しい性欲をぶつけられ
容赦ない連続絶頂に
全身が痙攣する。

だがそれほどまでに
悲惨な絶頂に晒されようと
雑魚妖魔たちに容赦の心が
宿ることは一切なかった。





おいコラ！
なに休んでんだ！
便器退魔師が！

ひっ………！？

オレらが
絶倫なことくらい
知ってんだろ！

何も言われなくても
黙って腰を振りつつけろ！
マゾ娼婦が！

は、はひ………ツツ！！



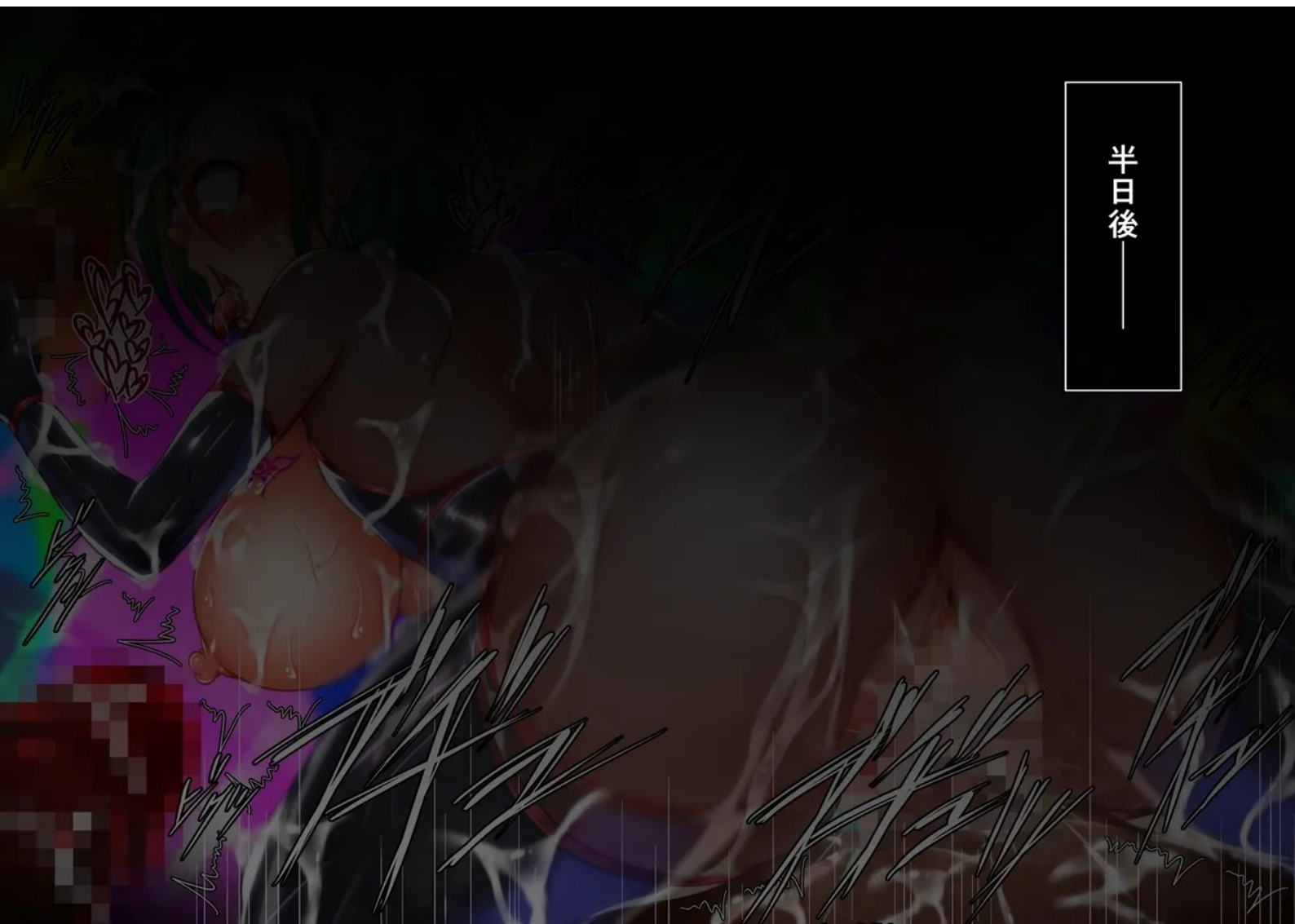
雑魚妖魔の怒声に
ビクッと怯えた表情で応えながら
再び腰を振り始めるアヤメ。

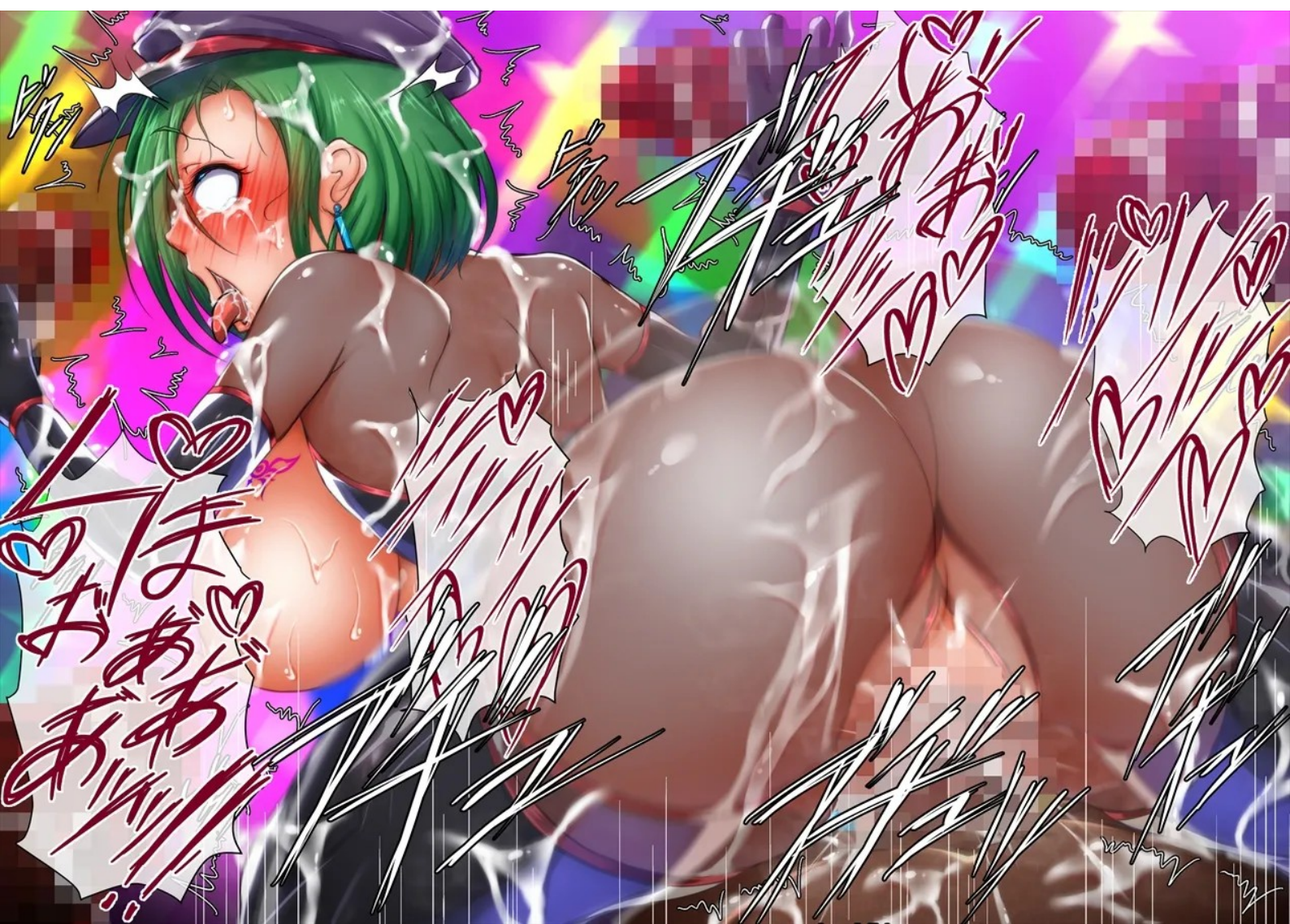
呪いによってイケばイクほど
人格が徐々に弱体化され、
かつての威厳さえも
見る影がなくなっていく。

退魔師の力や戦闘力だけでなく、
強き戦士としてのプライドや
気丈な心までも奪われながら

敗辱の女傑退魔師は
再び始まる連続絶頂の
大波の中へと
吞まれていく――。

半日後









一生犯したい気分だが
そろそろボスに番を
渡さねえといけねえからな

ヒヤハハハ！
射精した射精した！
ひとまずは満足って
ところかあ？

あ、あ……ッ……
ひ、が、あ……
♡♡♡♡♡

命拾いしたなあメスブタ
ギヤハハハハ！



こ、このたびは……
負け犬退魔師、の
屈服マ○コを……
お使い、くださり……

まことに……ッ
ありがとう……
ございまし、たあ……♡♡

ひぎ、あ……♡♡
またの……ッ
ごりよう、を……♡♡

おねがい、しま……ッ
ッひッ……♡♡
ひお、あッ……♡♡





オスに媚びるように
ヘラヘラと卑屈な表情で
感謝の言葉を言わされる。

その惨めすぎる姿に
かつての無敵の退魔師の
面影は微塵も感じられない。

絶頂に痙攣する姿を
周囲の雑魚妖魔から嘲笑され、
その屈辱感さえも
快感に変わってしまった。

今のアヤメは爪先から
脳細胞にいたるまで
マゾメス豚に相応しい
肉体と人格へと
作り変えられてしまっていた。



ギャヒヒ……！
オレの部下どもも
ひとまず満足したようだな

完全定着した
淫紋の威力……
身をもって
味わえただろ？

手下の妖魔たちと一緒に
アヤメの痴態を
鑑賞していたカガチが
ニタニタと嗤う。

その態度には
憎き女退魔師を
完全に手中に捕らえた
優越感が如実に表れていた。

これまでの改造と調教で
肉体は隅々まで
感度抜群の性感帯となり

脳は年中発情中…
感じすぎて自分の足で
立って歩くこと
さえできねえ

肉体の弱体化と
精神のマゾメス化によって
妖魔に反抗することさえ
今では不可能

これで完堕ちまでの
下準備はすべて
整ったってわけだ
ギャヒヒヒ……!!





これまでオレ様を拷問し
散々まで苦しめてきた
ナマイキ退魔師を

今度は
オレ様自身の手で
凌辱し『トドメ』を
刺してやる

『最低最弱』の
メスブタ退魔師
としてなあ？

ギャヒヒ……！
ギャハハハ……！

肉体は改造調教し尽くされ、
淫紋の完全定着によって
人格さえも妖魔の好き勝手に
弄ばれるようになったアヤメ。

かつては相手にもならなかった
下級妖魔たちに輪姦されて
そのプライドは粉々に破壊され、

今度は、大ボスである
カガチ自身の手によって
完全に墮とされようとしている。

だが今の弱りきった彼女に、
それを回避するチャンスも、
拒否する気力ももはや
残されていないかった――。



【アヤメの改造調教履歴】

■完全定着した淫紋によって
屈強な精神までもが**マゾメス人格に弱体化**

>>>>

- 妖魔の淫紋が魂レベルで**完全に定着**(除去は永久絶対に不可能)
- 連続屈服宣言によって身も心も簡単に屈服してしまう**屈服癖**がつくように
- 全身の**皮膚神経**をはじめとしたあらゆる部位を**性感帯化**
- 『**マゾメス化**』の呪いが**致命的レベル**まで浸蝕
罵られるだけで即アクメ級の快感と幸福感を得るように
- マゾ調教による徹底的な『**躰け**』によって
雑魚妖魔や女部下にさえ絶対逆らえない人格を刻印
- 弱体化**改造が**致命的レベル**まで進行、筋力や退魔力が非力な少女以下にまで低下
- 淫紋の浸蝕によって絶頂の条件を**強制的にコントロール**されるように
- 卑猥な淫語を無意識に使い始める『**淫語刷り込み**』の呪いを脳に定着
- オスの体液や体臭**をなにより甘美に感じるように脳を改造
- 敵のボスを最愛の相手と認識していく『**強制愛人化**』の呪いを脳に定着
- 全身の肉体感度を**数千倍以上**に鋭敏化
- 常時発情状態**となるように脳と全身の細胞を媚毒改造

next Scene...